

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス羽ばたき			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 15日		～	令和7年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	12人
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 15日		～	令和7年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童指導員の配置を多くしており、1人1人に対する療育が適切に行う事が出来る。	日常的な生活動作を身につけてもらえるように意識をし、個別に療育及び集団遊び等の取組みをしています。	様々な特性をお持ちのお子様に合わせて療育を、更に拡充する為に職員間でも方法を考えていきたい。
2	可能な限り遠方のお子様もご利用頂けるように人員・車両を用意しています。	送迎の手順・利用者様の状況に応じて人員を補充しています。	今後、全職員が全車両を運転出来るように練習を充実させる。
3	事業所の敷地面積が広く、庭園もある為、お子様達に伸び伸びと過ごして頂けます。	事業所内を広く使った集団遊びや催事、又は庭園にある築山を使った遊び等の工夫を行っています。	今後とも職員間で協議をして、訓練室の広いスペースと園庭を活用し、地域交流が出来る場にしていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	会議等にかかる時間が少ないと思われる。	療育に目一杯時間を当てている為、時間的な余裕がなくなっている。	療育の時間を確保しつつ、職員間で情報の共有を伝達していく工夫をする。
2	地域交流等の実現。	町内会・子ども会等に出向く時間が確保できない。	人員を更に確保し、時間に余裕を持たせ様々な催し等に出向く工夫をする。
3	運動療育のプログラム等を拡充させること。	運動学・解剖学等の知識を持った人材が存在するが、時間的制約があり実現できていない。	研修等により、知識や療育方法を他の職員に伝え、実践出来るように工夫する。